

よくある質問

高大連携による探究ガイダンス、デザイン思考演習等を実施した後、振り返りシートへの記入をご協力いただいています。

設問項目は、

- 1) 今日の体験を通して新たに気づいたこと、学んだこと
- 2) 疑問に思ったこと
- 3) すぐに今後の活動に活かそうに思ったこと
- 4) 全体を振り返っての感想

の4項目です。その中で、2)「疑問に思ったこと」に寄せられた質問の中から抜粋してQ&Aの形にまとめました。

Q. アイデアを膨らませていく発散の活動の中で、時には否定をすることも大切なのではないのでしょうか？

A. 否定をすることで、アイデアをひろげる空気感がなくなります。アイデアを広げきった後、収束の活動の中で取捨選択をし、論理的にアイデアをまとめていくとよいでしょう。

Q. 量よりも質が大事ではないのでしょうか？

A. 書籍『デザイン思考でゼロから1をつくり出す』の中で、とある事例が紹介されていました。ある陶芸のクラスで以下のような試みがあったそうです。

グループを2つに分け、Aグループには作品の質で、Bグループには作品の量で成績をつけると伝えたそうです。Aグループのメンバーは最高の出来になるよう、じっくり制作しました。Bグループのメンバーは次々新しい作品を完成させました。結果的に優秀な作品はほとんどBグループのものだったそうです。

上記の例は、アイデアを発想する時もブレインストーミングの4つのルールを意識して数多くアイデアを広げるプロセスを経て、「**量が質を担保する**」こと、「**量が質に転化する**」ことを立証しています。

そして飛躍した自由な発想から、実現可能なアイデアに引き寄せる視点を意識することで、一見するとボツの案が革新的なアイデアに生まれ変わることも期待できます。

(引用：「デザイン思考でゼロから1をつくり出す」学研プラス)

Q. 明らかにテーマからずれている意見にはどのように対応すればよいのでしょうか。

A. アメリカのデザイン事務所 IDEO のブレインストーミングルールに、「**テーマにフォーカスを当て続けよ (Stay Focused on Topic)**」とあります。もし上記のような状態がよくあるようでしたら、このルールを加えて取り組んでください。

Q. 飛躍した自由なアイデアはどうしたら出せるようになりますか？

A. 素振りやリフティングなどと同じで、周囲の友人と繰り返し練習することで、感覚を掴めていきます。

Q. アイデアが出ない時はどうすればよいですか？

A1. 課題を取り巻く情報量が足りていない場合があります。書籍、文献などを見渡し、関連する情報を得る時間を確保しましょう。

A2. 集中した思考の後、ふとリラックスした時間を過ごす中で、ふと、ある要素と要素がつながり、新しい視点に気づくことがあります。

Q. 自分の考えをまとめて相手と共有したときに、相反する意見のためアイデアを1つに決め切れない時、その複数の内容を合わせて取り組んでよいのでしょうか。

A. その複数のアイデアの組み合わせの相性がよければ良いのですが、そうでなければ、どちらかを選んでまずは取り組んでみましょう。うまくいかないようでしたら次の候補に挑戦してください。失敗の積み重ねが確かな成功につながります。